

創業計画書

福井市
福井県信用保証協会 御中

〇〇年 4月 10日

〔申込人〕

住 所 福井市大手3丁目10-1

会 社 名

氏名または
代表者名 福井 太郎 印

創業支援資金（創業等関連保証・創業関連保証）の申込みにあたり、以下のとおり創業計画を提出します。

原則、
法人の場合は「登記事項証明書」の設立日、
個人の場合は「開業届出」（税務署提出）の開業日を記

1. 事業概要

開 業 形 態	個人事業・会社事業		商 号(個人) 会 社 名(会社)	居酒屋〇〇
開業(予定)住所	福井市中央〇丁目×番△号 電話 0776 (〇〇) △△△△			
開 業 届 出(個人) 設 立 登 記(法人)	有・無		開業(予定)年月日 設立(予定)年月日	平成〇〇年 6月 1日 西暦
業 種	飲食業		資 本 金	[会社設立(予定)の場合] 円
許 可 等 許可等取得が必要な場合	(種類)	許可 許可・免許・登録・認証の別を記入	(根拠法)	食品衛生法 [取得すべき許可等の根拠法を記入((例)食品衛生法)]
従業員数	1 名	取扱品 生鮮食品 酒類	仕入先	(株)〇〇食品、(有)××商店 □□酒店
開業動機・目的	長年の厨房勤務経験を生かし、独自の料理を提供したいと考えていたところ、 現勤務先の仕入業者から安く仕入ができることになり、事業の見通しが立ったため			
開業に必要な知識、技術、ノウハウの習得	調理師免許（平成〇年〇月取得）			
[会社設立予定の場合] 出資者・出資額				
事業協力者の住所・氏名・勤務先	福井市大手3丁目10番1号 福井 花子 〇〇株式会社			

2. 創業準備の着手状況〔下記の該当事項に○印を付けて下さい〕

- ☒ ア 設備機械器具等発注済である。
- ☐ イ 土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。
- ☒ エ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。
- ☐ オ 商品・原材料の仕入を行っている。
- ☐ カ 事業に必要な許認可を受けている。
- ☒ キ 事業に必要な許認可取得未了（許認可取得見込み（申請状況や取得予定時期等）を具体的に記入してください（〇〇年4月2日に福井健康福祉センターへ許可申請書提出、5月10日頃許可取得予定。））
- ☐ ク その他（具体的に記入して下さい）

3. 必要な資金及び調達の方法

必要な資金		金 額	調達の方法	金 額
設備資金	不動産取得費、内装工事費、敷金、入居保証金、機械設備、什器備品など (内訳) ・店舗改装工事 ・厨房設備器具一式 ・その他備品	600 千円 250 千円 150 千円	自己資金 ・〇〇銀行 〇〇支店	3,000 千円
	設備についての詳細は、支払い済のもの・支払い予定のものいずれも記入下さい。見積書・賃貸契約書・受発注書等の確認資料(写しで可)を提出いただきます。		親戚・知人等からの借入 (内訳・返済方法)	千円
			金融機関からの借入 (内訳・返済方法) ・〇〇銀行 〇〇支店 年利 1.2% 毎月返済額 50千円 借入期間 H〇〇.6~H△△.5	3,000 千円
運転資金	仕入資金、経費支払資金など (内訳) ・商品・材料の仕入資金 食材180千円、酒類120千円 ×2ヵ月分 ・人件費 (時給900円×8H×17日) ×2ヵ月分 ・光熱費 (2ヵ月分)	600 千円 250 千円 150 千円		
	創業後、3ヶ月間で必要な経費(運転資金)を記入してください。			
合 計		6,000 千円	合 計	6,000 千円

4. 収支計画 (今後1年間分)

支 出			収 入		
仕 入 高	3,000	千円	売 上 高	10,000	千円
外 注 工 費		千円	工 賃 収 入		千円
人 件 費	1,200	千円	雑 収 入		千円
		千円			千円
その他費用	1,000	千円			千円
利 益	4,800	千円			千円
計	10,000	千円	計	10,000	千円

5. 販売・仕入先

主な販売先 ・受注先	販売・受注 予定額	回収方法	主な仕入先 ・外注先	仕入・外注 予定額	支払方法
一般顧客	年 10,000 千円	現金・カード	(株)〇〇食品	年 1,000 千円	振込
	年 千円		(有)××商店	年 500 千円	現金
	年 千円		□□酒店	年 1,000 千円	現金

6. 借入金等状況（※）

借入先等	資金使途	借入残高	残 存 返済期間	年 間 返済額
〇〇金庫	住宅・土地	15,000 千円	240 ヶ月	750 千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

（※）現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください
（経営者本人が負担している保証債務も含みます）。

7. その他（計画に関する補足説明がありましたらご記入してください）

仕事帰りの女性（20代～50代）をメインターゲットとして、次のことを行っていく。

- ・店舗は、女性が足を運びやすい雰囲気づくりを行う。
- ・ドリンクは、特にワインやカクテルのメニューを充実させる。
- ・メニューは、通常の居酒屋メニューに加え、季節限定のフードやスイーツを充実させる。

また、週替わりメニュー「今週のお得な1品」を提供し、リピート客の増加を図る。

8.自己資金算定額

※創業前で、融資申請額が10,000千円を超える場合のみご記入ください。

(すでに創業している場合や、融資申請額が10,000千円以下の場合は記入不要です。)

※自己資金、借入金等の確認できる書類を添付してください。

	種 類	明 細			金 額
自 己 資 金 等	普 通 預 金	〇〇銀行××支店			2,000 千円
	定 期 性 預 金	〇〇銀行××支店			1,000 千円
	有 価 証 券 等				
	入 居 保 証 金 等				
	設 備 充 当 等				
合 計					① 3,000 千円
借 入 金 等	借 入 先	資金使途	残 存 返済期間	年 間 返済額	年間返済額の2年分 (2年以内のものは全)
	〇〇銀行××支店	社用車購入	48 ヶ月	250 千円	500 千円
合 計					② 500 千円
自 己 資 金 額 (① - ②) =					③ 2,500 千円

自己資金額算定の際の添付
書類については下記参照。

住宅ローン、設備資金等長期
返済を前提としたもの(借入期
間が2年以上)は、年間返済
予定額の2年分が、借入金と

自己資金額の添付書類について ※【 】内の書類を添付してください。

①自己資金

ア 普通預金、定期預金等残高の証明ができるもの

【預金通帳、預入日、満期日が表示された証書等、預金残高の推移を確認することが

で

きるもの】

イ 有価証券

【取引通知、計算書、投資報告書等所有権の帰属を確認することができるもの】

ウ 敷金および入所保証金

【賃貸借契約書、預り証等の差入金額を確認することができるもの】

エ 融資申込前に導入した事業用設備(不動産を除く。)

【領収書等支出した金額を確認することができるもの】

オ 会社設立予定の場合、資本金又は出資金

【株式払込金保管証明書又は出資払込金保管証明書】

カ その他客観的に評価が可能な資産(不動産を除く。)

【当該金額が客観的に確認できる証明書類】

②借入金

【返済予定表又は借入金残高を証明することができるもの、並びに借入の始
期、終期のわかるもの】

ア 住宅ローン、設備資金等長期返済を前提としたもの(借入期間が2年以上)は、年間
返済予定額の2年分

イアに該当しないものは、当該借入金額